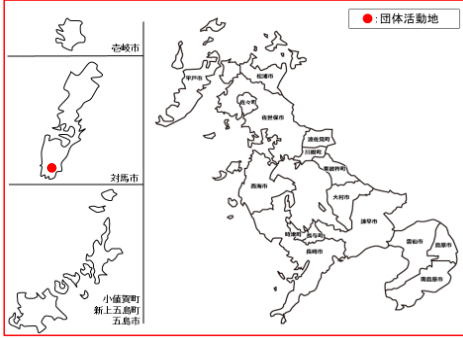


森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業

団体名	内山地区炭焼き三氏郎	【地区の概要・取組等】 活動開始・・・令和4年度(1期1年目) 内山地区は古くから炭焼きをしていた集落で、現在も炭焼きが続いており、薪炭林を炭焼きやシイタケ原木として利用することで、利用しやすい幹の太さのカシ、コナラ林を維持してきました。しかし、近年島内のシカが増加し、食害によって萌芽更新が難しくなり、伐採後に枯れてしまうカシやコナラが増え、炭木としては材が軽く利用価値がないシロダモ等の樹種が増加しています。シカの被害から薪炭林を守るため、防鹿ネットで薪炭林を囲み、森林を再生させたり、手入れ・利用しやすいように作業道も作設します。
登録地域	対馬市厳原町	
活動区域	対馬市厳原町	
構成員数	14名	



	地域環境保全タイプ		森林資源 利用タイプ	森林機能 強化タイプ	空間利用タイプ (H25～H26) 教育研修タイプ (H27～H30) 関係人口創出・維持タイプ (R3～)	資機材購入
	里山林保全	侵入竹除去 竹林整備				
	(ha)	(ha)				
令和4年度	面積・回数・長さ	2.1ha		1146m		チェーンソー 3台 刈払機 3台 防鹿ネット
	延べ人数	339人(うち、一般2人)				
令和5年度	面積・回数・長さ	来年度 活動実施予定				
	延べ人数					
令和6年度	面積・回数・長さ					
	延べ人数					